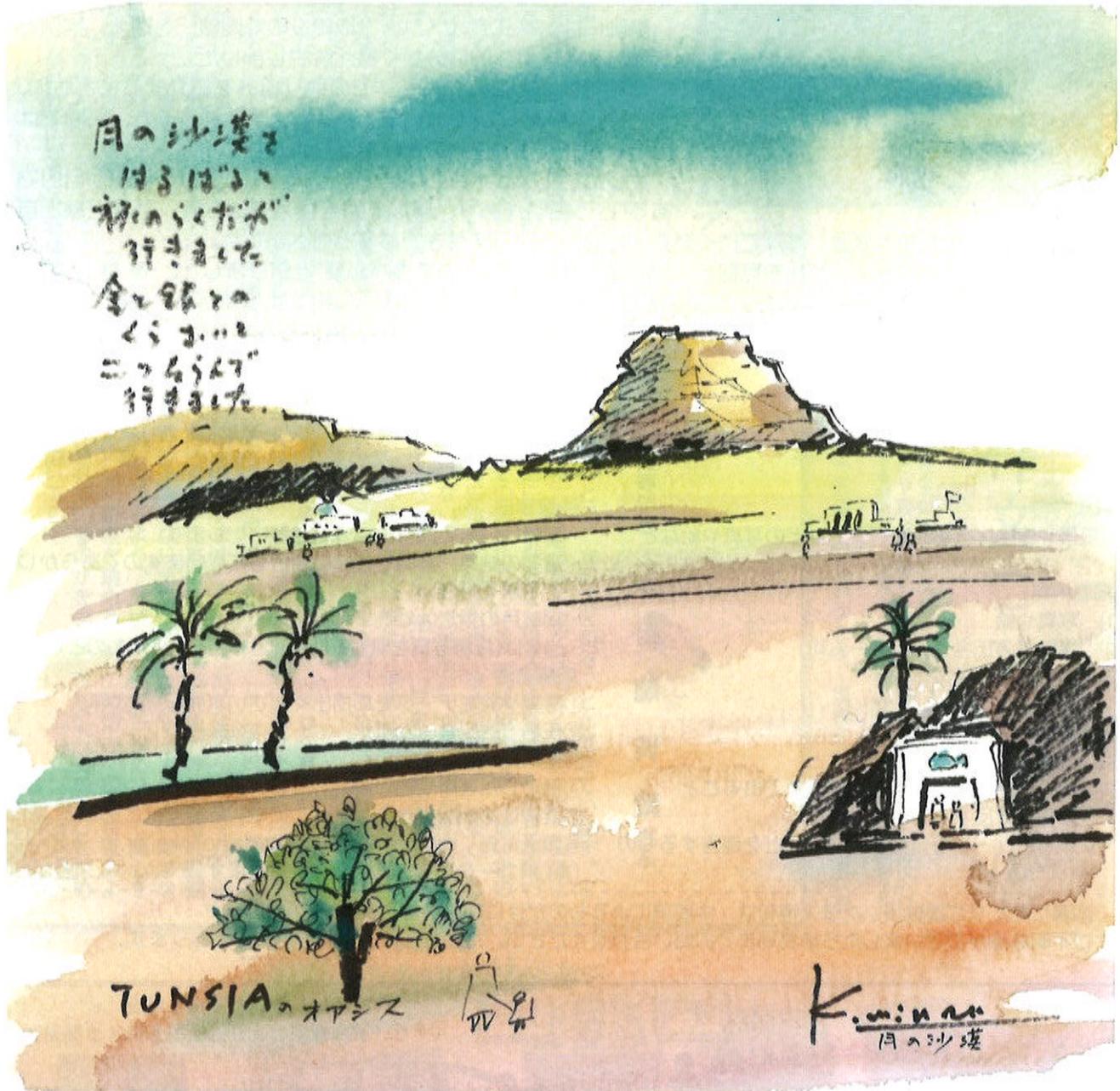


公益社団法人

山形法人会 ニュース



<https://hojinkai.zenkokuhojinkai.or.jp/yamagata/>

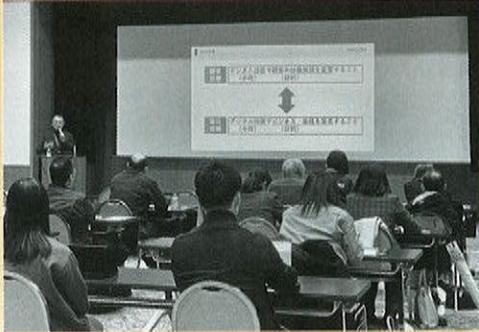
山形法人会

検索

3
vol.518
March 2026

今さら聞けないDXの本質と生成AI活用術

株式会社メコム 取締役 森岡 勉氏



2月25日(水)、山形ビックウィングにおいて、「今さら聞けないDXの本質と生成AI活用術」のテーマで、DXセミナーを開催し、22名が参加しました。

講師には、株式会社メコム 取締役の森岡勉氏を迎え、実例とデモを交え、具体的に分かり易く解説しました。

冒頭では、メコムグループでの取り組みを紹介するとともに、県内のDX状況にも触れ、行政は遅れが見られる一方、民間では先進事例が増えていることが示されました。

さらに、「DXにおいてはデジタルは手段であり、改革が目的である」との説明があり、単なる置き換えではなく、顧客目線と自社目線の両立が重要と強調。慣習で続く業務は目的から見直すべきであると述べました。

今後は、AIエージェント時代を見据え、「AIに選ばれる企業への準備が必要」と結びました。

セミナー後は相談ブースも設けられ、参加者は自社課題を持ち寄り、熱心に相談する姿が見られました。「とても勉強になった」「是非自社に取り入れたい」という声が多数寄せられ、有意義なセミナーとなりました。

『山形法人会ニュース』表紙募集のお知らせ

山形法人会ニュースの表紙を飾る写真または絵などを募集しております。皆様のおつきあいの1枚をぜひご応募ください。

募集内容

風景や建物・行事やイベントなどの写真や絵など

掲載内容

- (1) 写真や絵
- (2) 撮影者の氏名(ペンネーム可)
- (3) 撮影場所や被写体など



応募条件

- (1) 応募者本人の作品であること
- (2) 次の事項に当てはまらない写真であること
 - ・公序良俗に反するもの
 - ・プライバシーや著作権・肖像権などを侵害するもの

注意事項

- ・選考は広報委員会によって選考いたします。
- ・選考の結果、掲載できない場合もございますのであらかじめご了承ください。
- ・掲載月の指定はできません。
- ・当会は、応募写真を無償で使用する権利を有するものとします。

応募方法

- ①写真や絵をデータでご提出ください。(JPEG形式等)
 - ②氏名(ペンネーム可)
 - ③連絡先(電話番号)
 - ④撮影した場所や物
- 必要事項を明記のうえ、メールにてご応募ください
写真送付先: yampagaho@yamagata-hojinkai.or.jp
(※QRコードからもご応募いただけます。)



応募にあたりご提供頂いた個人情報は、本要項によるものだけに使用いたします。

ご不明な点がございましたら事務局までお問い合わせください。たくさんのご応募お待ちしております。

もつと
素敵に!
カーライフ



山形トヨタ

<https://ytj.jp>

本社/山形市南一番町11-16

各店舗の情報は

QRコードを

Check!



令和七年度

税に関する高校生の作文コンクール

【税に関する高校生の作文とは】

国税庁では、毎年、全国の高等学校の御協力を得て「税に関する高校生の作文」の募集を行っています。これは、次代を担う高校生の皆さんが、学校教育の中で学習したことや自分自身の経験・体験などを通して、税について考えたことを作文の形で発表していただき、これを機会に税に対する関心を一層深めていただきたいという趣旨で、昭和三十七年度から毎年実施しているものです。令和七年度は、全国から一七三、〇二二編（仙台国税局管内二二、九一五編）の応募があり、国税庁長官賞十二編が選ばれました。

公益社団法人山形法人会 会長賞

豊かな社会をめざして

山形県立山辺高等学校 一年 後藤 青葉さん

「税」と言うと、私には、まだ曖昧で、ぼんやりとしたものです。そんな知識、関心の少なさを感じながらも、今、高校生の私が思うことを、述べたいと思います。

私は、幼少の頃からアレルギー体質で、卵アレルギー、杉、ダニ、草類のアレルギーを持っていて、高校生になった今も、治療や検査等で、小児科のクリニックへの通院を続けています。定期的に体の状態を診てもらう必要があるため、通院しています。私の暮らす市では、〇歳児から高校三年卒業時まで、医療費が無償化されています。私のように、定期受診が必要であったり、体調が悪く診察してもらったりした時に、その代金の支払いを無償にしてもらえることは、私も家族も、とてもありがたく思っています。年代により、二割負担、三割負担等ありますが、それだけでも負担が減ることはありがたく、さらに無償となると、子供のいる家庭では、大幅な家計の負担の軽減となっています。

この市の政策が成り立っているのは、人々が納めている「税金」のおかげです。私は、まだ、市へ「税金」を納める立場にはなっていますが、こうやって、私の身近なところで「税金」が使われていることを理解し、関

心を持つことで、大切さを知ることができています。この「住民税」のような税金だけでなく、例えば、私のような高校生に一番身近だと思える税金は、私たちが買い物や自動的の払っている「消費税」です。買っている物の時にその都度払っているため、税金を納めているという実感は、少ないかもしれませんが、立派に税金を納めています。そう考えると、先に、「税金」を納める立場ではないと述べましたが、実は、年齢に関係なくみんなが納税者なのではないでしょうか。改めて、私は、とても身近に感じます。

健康で、元気に、何不自由ない幸せな暮らしができること。これは、当たり前なことではありません。日本では、憲法で、「税金」を納めること（納税）は、国民の義務とされています。今はまだ高校生で子供ですが、私も、近い将来、仕事に就くと「所得税」等、本格的に税金を納める側になります。これからも、よりよい幸せな暮らしができるよう、今は、日頃から税について関心を持ち、正しく税金を納めることの大切さ、税金がどのように使われているのかを学び、さらに、その学びを深めていきたいです。

会議やお子様のイベント

ご法要など用途に合わせてご用意いたします。



1, 800円(税込)



2, 300円(税込)



引き出し弁当
二段 3, 000円
三段 4, 800円

ホテルの味をもっと身近に。

山形七日町ワシントンホテル

0120-881-880

写真はイメージです

- ・配達可能エリア：山形市
- ・配達可能時間：11:00~17:00
- ・お電話のみの受付となります
- ・お渡し日の3日前までにご予約ください
- ・一か所5個以上からご予約いただけます



人との貸借対照表が良好な職場環境を創る



ジャーナリスト 海部 隆太郎

「宵越しの銭は持たない主義だから」と、粋なセリフで夜な夜なご馳走してくれた先輩たち。感謝の思いを抱くも支払いがクレジットカードだと興ざめ。「宵越しではないよな」と矛盾を感じつつ、それはそれとして、ありがたくご厚意に甘んじていた頃があった。先輩たちが負担した飲食代を借りとは思わなかったが、上手なお金の使い方、気風の良さが人間性を高めることを十分に学んだと思う。自分も後輩たちに同じことをしてきた。「これで、あの時の借りを返せるのでは」という考えが心の中に自然に宿っていったような気がする。

生まれつきの性格もあるが、あらゆる物の貸し借りが好きではなかった。ケチだからとは思わないようにしているが、その傾向はあるのかもしれない。この流れは社会人になっても続き、特に借金は嫌い。好きなことをして返済のために働いているような人たちを見ると情けなさを感じたが、自らの住宅ローンだけは避けられず、いつしか返済のために働くような時期が結構長く続いた。今は完済し借金とは無縁の生活をしている。

ただ、知らないうちに借りを作ってきたことを知る機会があり、無借金人生だと誇らしげにいた自分を恥じることとなった。

借りたものは返すのが当たり前

知人に薦められて読んだコピーライターの岩崎俊一さんのエッセイ『大人の迷子たち』が気付きのきっかけ。何となく抱いていた「人生は貸しと借りの連続」だということを改めて知らされた。要旨は、人は誕生から自立まで、誰かの世話になり成長する。親だけでなく多様な人々からの「借り」が山積した状態を経て就職し、ここが損益分岐点となり、少しずつ「借り」を作る機会が減っていく。自立した後は、いかにして「貸し」を増やしていけるかが充実した幸せな人生になるのではないかと、ということ。

会社も起業時は「借り」ばかり。資金面だけでなく多くの援助を受けて成長したにも関わらず、それを忘れて社会的な「貸し」を行わなければ、いずれは膨れた「借り」で行き詰まってしまうのだと考える。

職場でも同様な発想をすれば、パワハラは「貸し」を消し、部下や周囲の社員を成長させるために苦心する行動は「貸し」を増やす。こう思えば自己中心的な考えは霧消するはずだ。すべての人が多くの人や社会から受けた恩恵を貸借対照表としてとらえていけば、まだまだ「借り」が多いと思うのではないだろうか。

誰もが年をとる。高齢者になれば再び「借り」を増やしてしまうのは間違いない。そのために「貸し」を厚くしておかなければなるまい。職場で、特に上司がこの仕組みに気が付けば、良好な職場環境が醸し出されると思うのだが。

借りたものは返すのが当然。金の話ではない。人に対する思い、人に敬意をもって接する、援助できる心の広さのことだ。

【筆者紹介】

海部隆太郎(かいべりゅうたろう)

全国紙記者、IT企業を経てフリー。中小企業を中心に幅広い課題を取材し講演・執筆活動を展開する。



宴会の食べ残しをなくす3010(さんまるいちまる)運動

食品ロス問題ジャーナリスト 井出留美

「3010(さんまるいちまる)運動」って聞いたことがありますか？ 宴会の食べ残しを減らすための運動で、乾杯の後30分間は席を立たずに料理を楽しみましょう、お開きの10分前には自分の席に戻って料理を楽しみましょう、というものです。

3010運動は、長野県松本市で始まりました。宴会での食べ残しが多いことを憂いた市長が、市役所の中で、宴会が始まってからの30分間は席について料理を食べよう、と提案した「30(さんまる)運動」が始まりました。長野県では乾杯の後、すぐにお酌にまわってしまうことが多いそうです。せっかくだから市民にも呼びかけようと、最後の10分間も足して「3010運動」と名付けました。

これが評判になって他の自治体にも広がり、今では環境省の公式サイトに3010運動を啓発するためのツールがダウンロードできるようになっています。私も三角柱のPOPは何十回もダウンロードして印刷し、画用紙に貼ってPOPを作り、いろいろな人に渡しました。仲間うちの飲み会でも、これをテーブルに置いておく効果があります。

ご存じの方もいらっしゃると思いますが、法人会の女性部会も食品ロス削減に積極的に取り組んでいて、つい最近、啓発ツールとして三角柱POPを作りました。法人会の宴会や懇親会は、会員どうしで交流するのが主な目的であることや、立食形式も多いことから、時間を「15分・10分」と、「3010」より短めに設定したそうです。三角柱POPは法人会事務局に頼めばもらえるそうですので、お勤め先の宴会などでの活用も、ぜひ検討してみましょう。

京都市は、宴会の時、お開きの前に幹事が「料理を食べ切りましょう」と声かけした場合と、声かけしなかった場合とで、どれくらい食べ残しの量が違うか、実証実験をおこないました。その結果、声かけることで食べ残しが4分の1まで減ることがわかりました。声をかけるだけならお金はかかりませんね。

立食パーティーの時には、用意する料理の量を参加者の7がけくらいにするとよいと言われます。先日、大学の立食パーティーに参加したところ、お開きの前になっても料理がたくさん残っていました。一緒に参加していた男性に「もったいないですね」と話しかけたところ、その方も別のイベントで毎回、宴会の食べ残しを減らすのに苦慮しているとのことでした。その方は弁護士で、イベントの参加者は高齢男性が多く、参加者の7がけにしても余るし、つまんで食べられるフィンガーフードにしても余るし、どうしたらいいかと悩んでいました。日本の場合は名刺交換の機会も多く、乾杯の時にはグラスを手に持ち、その上、お皿とフォークまで一度に持つことができないので、どうしても余ってしまいがちかもしれません。思い切って、料理の量はぐんと少なく抑えてもいいのかもしれないですね。イタリアの街、トリエステで入ったレストランでは、パンは最初から茶色い紙袋に入れてテーブルに置かれていました。おなかがいっぱいだったらそのまま持ち帰りできます。

日本では、環境省の主催で食べ残しを持ち帰るドギーバッグの愛称コンテストが実施され、mottECO(モtteco)に決まりました。「持って帰ろう」と「もっとエコ」のメッセージが込められています。環境省の公式サイトではmottECOをダウンロードすることもできます。

宴会の幹事になった方は、3010の啓発ツールやmottECOを準備してみるのはいかがでしょうか。



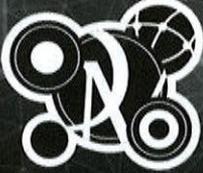
〈参考情報〉

「3010運動普及啓発用三角柱POPダウンロード(環境省)」

<https://www.env.go.jp/recycle/food/3010pop.html>

「mottECO(モtteco)ダウンロード(環境省)」

<https://www.env.go.jp/recycle/food/motteco.html>



DiversityMedia

ダイバーシティメディア

「ダイバーシティ -Diversity-」とは、「多様性」という意味であり、性別、年齢、人種、文化、宗教、国籍、言語、障がいの有る無しなどを、個性や価値観の違いと捉え、包摂する「インクルージョン」の理念が基礎となります。

地域に根ざしたケーブルテレビをベースとしながら、インターネットサービスやSNS、映画、スポーツ、音楽などを通じて山形から全国、世界へと情報を発信してまいります。

お問合せ 株式会社ダイバーシティメディア(旧 株式会社ケーブルテレビ山形) 〒990-0025 山形県山形市あこや町1-2-4 TEL 023-624-5000 FAX 023-624-5100

行動する法人会

— 令和8年度税制改正に関する提言 —

全法連では、令和8年度税制改正に向け、政府・政党に対して提言活動を行いました。

自由民主党

11月4日

税制調査会長 **小野寺五典氏**

11月12日 予算・税制等に関する政策懇談会

財政・金融・証券関係団体委員長 **塩崎 彰久氏** 他



日本維新の会

11月28日 税制調査会ヒアリング

税制調査会長 **梅村 聡氏** 他



立憲民主党

11月13日 税制調査会ヒアリング

税制調査会長 **重徳 和彦氏** 他



公明党

11月26日 財政・金融部会団体ヒアリング

財政・金融部会長 **杉 久武氏** 他



国民民主党

11月17日 税制調査会ヒアリング

税制調査会長 **古川 元久氏** 他



ウイルス・ニオイ対策に!

次亜塩素酸 空間除菌脱臭機

ziaino

ジアイーノ



次亜塩素酸による空気清浄 (気液接触方式)

食塩水を電気分解することで次亜塩素酸(電解水)を生成。その次亜塩素酸(電解水)を含浸したフィルターに汚れた空気を通過させる「気液接触方式」で汚れた空気を除菌・脱臭します。また、揮発した次亜塩素酸が付着菌を抑制します。

詳しくはこちら▶



Panasonic 山形パナソニック 〒990-2401 山形市平清水1丁目1番75号 TEL.023-622-5402

財務省

12月4日

財務大臣 片山さつき氏

11月17日

財務副大臣 舞立 昇治氏



左から片山財務大臣、池田筆頭副会長
左から田中専務理事、丸山税制副委員長、舞立財務副大臣、飯野税制委員長

厚生労働省

11月13日

厚生労働副大臣 長坂 康正氏



左から長坂厚生労働副大臣、飯野税制委員長、丸山税制副委員長

国税庁

12月10日 表敬訪問

長官 江島 一彦氏
次長 田原 芳幸氏
課税部長 高橋 俊一氏



左奥から高橋課税部長、江島国税庁長官、田原次長
右奥から飯野税制委員長、齋藤会長、田中専務理事

総務省

10月14日

自治税務局長 寺崎 秀俊氏



左から田中専務理事、寺崎自治税務局長、飯野税制委員長、丸山税制副委員長

中小企業庁

10月22日

長官 山下 隆一氏
事業環境部長 坂本 里和氏



左から坂本事業環境部長、田中専務理事、丸山税制副委員長、山下中小企業庁長官、飯野税制委員長



人と人をつなぎ 幸せを創り
社会に貢献します。



株式会社大風印刷
〒990-2338
山形市蔵王松ヶ丘1-2-6
Tel.023-689-1111



WEB

第18回 小学生税に関する 絵はがきコンクール表彰式

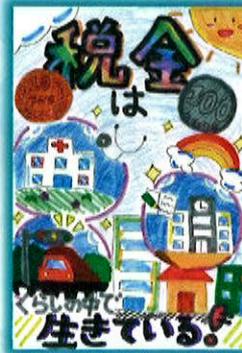


令和8年2月19日(木)、山形市立西小学校において、第18回「小学生税に関する絵はがきコンクール」の表彰式が行われました。

山形税務署長賞を受賞された長船眞子さんに、長尾昭彦山形税務署長より賞状および副賞が贈呈されました。また、山形法人会優秀賞には佐藤柚希さん、情野杏姫さんが入賞し、それぞれ賞状および副賞が贈られました。受賞された皆さんの今後のさらなるご活躍をお祈り申し上げます。



山形市立西小学校 6年
長船 眞子さん



山形市立西小学校 6年
佐藤 柚希さん



山形市立西小学校 6年
情野 杏姫さん

山形法人会
優秀賞



法人会の経営者大型総合保障制度

広げよう
企業保障の
大きな傘を

法人会の「経営者大型総合保障制度」は
1971年に創設されました。
想いをつないで50年。
これからも会員のみなさまと共に歩み、
企業保障の大きな傘で
会員のみなさまをお守りしてまいります。

DJIDO 大同生命保険株式会社
山形支社/
山形県山形市諏訪町1-1-1(センチュリープレイス山形4F)
TEL 023-641-2852

AIG AIG損害保険株式会社
山形支店/
山形県山形市七日町3-5-20(AIG山形ビル3F)
TEL 023-622-4322



発行 公益社団法人山形法人会 編集 広報委員会

〒990-0031 山形市十日町1-2-30 D'グラフォート十日町タワー-203 TEL023-632-7852(代) FAX023-632-5787